



# さろま

50/10

第217号

発行 佐呂間町役場

印刷 井谷印刷株式会社

私たちのまち

|         |       |
|---------|-------|
| 世帯数     | 2,632 |
| 人口      | 9,515 |
| 男       | 4,661 |
| 女       | 4,854 |
| 9月30日現在 |       |



収穫

春以来の天候不順に心配された  
農作物も、秋の好天に恵まれ実り  
多い収穫期を迎え  
トラクターのエンジンの音も響  
く、収穫が今だけなわけです。  
寒い冬がもうそこまできていま  
す。

## 町議会より

(定例第三回)

## 一般会計補正予算

六千五七〇万八千円追加

## 教育委員に

杉本 韶氏再任

災害弔慰金と災害援護資金  
貸付条例の一部改正

## ▼補正予算

## 一般会計補正予算(第六号)

才入才出にそれぞれ六千五七〇

万八千円を追加し、予算の総額を  
十八億四千一二万九千円とする

主なる補正額

(才入)

地方交付税

一千一七六万八千円

特別養護老人ホーム運営負担金

三五八万三千円

飼料作物生産合理化事業補助金

一千三三二万六千円

緊急粗飼料増産対策事業補助金

一千二二四一万五千円

飼料作物生産振興対策事業補助金

八九二万一千円

総合グランド整備改修工事補助金

六七六万円

・体育施設費  
・公共土木施設災害復旧費

九四〇万円

## 農業用施設災害復旧費

三一〇万円

## 農村動力電気導入事業補助金

五七九万四千円減額

## 知来尚和地区未点灯解消工事費

負担金 三一四万二千円

## 知来右岸地区排水路掘削工事

一〇〇万円減額

## 飼料作物生産合理化事業補助金

一千三三二万六千円

## 緊急粗飼料増産対策事業補助金

一千二二四一万一千円

## 飼料作物生産振興対策事業補助金

八八一八万八千円

## 浜佐呂間漁港改修事業負担金

二三七万一千円

## かき養殖被害対策補助金

一五八万七千円

## 富武士浜道路測溝工事

七三万円

## 災害援護資金の限度額

二千二〇万二千円

- 河川災害復旧事業費 八三九万六千円
- 道路橋梁災害復旧事業費 七七〇万二千円
- 農業用施設災害復旧事業費 六三六万一千円

資金貸付限度額は被害の種類及び程度に応じ、それそれ次のとおりとする。

一世帯主の負傷がおおむね一ヶ

月以上で次に該当する場合。

(1) 家財の損害がその価格の三分の一以上あり且つ住居の損害がない場合 六十万円

(2) 住居が半壊した場合七十万円

(3) 住居が全壊した場合 百万円

(4) 未満で住居に損害がない場合 合三十万円

(5) 家財の損害があり、かつ住居の被害がない場合 三十万円

(6) 住居が全壊した場合四十万円

(7) 住居が半壊した場合七十万円

(8) 住居の全体が損害、流失又はこれと同等と認められる特

別な事情がある場合 百万円

(9) 災害弔慰金の支給、災害援護資

金の貸付に関する条例の一部改

正

(10) 災害弔慰金を支給する遺族の範

囲との順位を改めた。

一、死亡者の死亡当時において

死亡者により生計を主として

維持していた遺族を先にし、

その他の遺族を後にする。

死亡者が死亡当時その死亡に関

し災害弔慰金を受けることとな

る者の生計を主として維持して

いた場合は百万円としその他の

場合は五十万円とする。

二、災害援護資金の額

死亡者が死亡当時その死亡に関

し災害弔慰金を受けることとな

る者の生計を主として維持して

いた場合は百万円としその他の

場合は五十万円とする。

三、災害援護資金の限度額

死亡者が死亡当時その死亡に関

し災害弔慰金を受けることとな

る者の生計を主として維持して

いた場合は百万円としその他の

場合は五十万円とする。

四、災害援護資金の限度額

死亡者が死亡当時その死亡に関

し災害弔慰金を受けることとな

る者の生計を主として維持して

いた場合は百万円としその他の

場合は五十万円とする。

五、災害援護資金の限度額

死亡者が死亡当時その死亡に関

し災害弔慰金を受けることとな

る者の生計を主として維持して

いた場合は百万円としその他の

場合は五十万円とする。

六、災害援護資金の限度額

死亡者が死亡当時その死亡に関

し災害弔慰金を受けることとな

る者の生計を主として維持して

いた場合は百万円としその他の

場合は五十万円とする。

七、災害援護資金の限度額

死亡者が死亡当時その死亡に関

し災害弔慰金を受けることとな

る者の生計を主として維持して

いた場合は百万円としその他の

場合は五十万円とする。

八、災害援護資金の限度額

死亡者が死亡当時その死亡に関

し災害弔慰金を受けることとな

る者の生計を主として維持して

いた場合は百万円としその他の

場合は五十万円とする。

九、災害援護資金の限度額

死亡者が死亡当時その死亡に関

し災害弔慰金を受けることとな

る者の生計を主として維持して

いた場合は百万円としその他の

場合は五十万円とする。

十、災害援護資金の限度額

死亡者が死亡当時その死亡に関

し災害弔慰金を受けることとな

る者の生計を主として維持して

いた場合は百万円としその他の

場合は五十万円とする。

十一、災害援護資金の限度額

死亡者が死亡当時その死亡に関

し災害弔慰金を受けることとな

る者の生計を主として維持して

いた場合は百万円としその他の

場合は五十万円とする。

十二、災害援護資金の限度額

死亡者が死亡当時その死亡に関

し災害弔慰金を受けることとな

る者の生計を主として維持して

いた場合は百万円としその他の

場合は五十万円とする。

十三、災害援護資金の限度額

死亡者が死亡当時その死亡に関

し災害弔慰金を受けることとな

る者の生計を主として維持して

いた場合は百万円としその他の

場合は五十万円とする。

十四、災害援護資金の限度額

死亡者が死亡当時その死亡に関

し災害弔慰金を受けることとな

る者の生計を主として維持して

いた場合は百万円としその他の

場合は五十万円とする。

十五、災害援護資金の限度額

死亡者が死亡当時その死亡に関

し災害弔慰金を受けることとな

る者の生計を主として維持して

いた場合は百万円としその他の

場合は五十万円とする。

十六、災害援護資金の限度額

死亡者が死亡当時その死亡に関

し災害弔慰金を受けることとな

る者の生計を主として維持して

いた場合は百万円としその他の

場合は五十万円とする。

十七、災害援護資金の限度額

死亡者が死亡当時その死亡に関

し災害弔慰金を受けることとな

る者の生計を主として維持して

いた場合は百万円としその他の

場合は五十万円とする。

十八、災害援護資金の限度額

死亡者が死亡当時その死亡に関

し災害弔慰金を受けることとな

る者の生計を主として維持して

いた場合は百万円としその他の

場合は五十万円とする。

十九、災害援護資金の限度額

死亡者が死亡当時その死亡に関

し災害弔慰金を受けることとな

る者の生計を主として維持して

いた場合は百万円としその他の

場合は五十万円とする。

二十、災害援護資金の限度額

死亡者が死亡当時その死亡に関

し災害弔慰金を受けることとな

る者の生計を主として維持して

いた場合は百万円としその他の

場合は五十万円とする。

二十一、災害援護資金の限度額

死亡者が死亡当時その死亡に関

し災害弔慰金を受けることとな

る者の生計を主として維持して

いた場合は百万円としその他の

場合は五十万円とする。

二十二、災害援護資金の限度額

死亡者が死亡当時その死亡に関

し災害弔慰金を受けることとな

る者の生計を主として維持して

いた場合は百万円としその他の

場合は五十万円とする。

二十三、災害援護資金の限度額

死亡者が死亡当時その死亡に関

し災害弔慰金を受けることとな

る者の生計を主として維持して

いた場合は百万円としその他の

場合は五十万円とする。

二十四、災害援護資金の限度額

死亡者が死亡当時その死亡に関

し災害弔慰金を受けることとな

る者の生計を主として維持して

いた場合は百万円としその他の

場合は五十万円とする。

二十五、災害援護資金の限度額

死亡者が死亡当時その死亡に関

し災害弔慰金を受けることとな

る者の生計を主として維持して

いた場合は百万円としその他の

場合は五十万円とする。

二十六、災害援護資金の限度額

死亡者が死亡当時その死亡に関

し災害弔慰金を受けることとな

る者の生計を主として維持して

いた場合は百万円としその他の

場合は五十万円とする。

二十七、災害援護資金の限度額

死亡者が死亡当時その死亡に関

し災害弔慰金を受けることとな

る者の生計を主として維持して

いた場合は百万円としその他の

場合は五十万円とする。

二十八、災害援護資金の限度額

死亡者が死亡当時その死亡に関

し災害弔慰金を受けることとな

る者の生計を主として維持して

いた場合は百万円としその他の

場合は五十万円とする。

二十九、災害援護資金の限度額

死亡者が死亡当時その死亡に関

し災害弔慰金を受けることとな

る者の生計を主として維持して

いた場合は百万円としその他の

場合は五十万円とする。

三十、災害援護資金の限度額

死亡者が死亡当時その死亡に関

し災害弔慰金を受けることとな

る者の生計を主として維持して

いた場合は百万円としその他の

場合は五十万円とする。

## 町政日誌

四月

五月

六月

七月

八月

九月

十月

十一月

十二月

一月

二月

三月

四月

五月

六月

七月

八月

九月

十月

十一月

一二月

一月

二月

三月

四月

五月

六月

七月

八月

九月

十月

十一月

一二月

一月

二月

三月

四月

五月

六月

七月

八月

九月

十月

十一月

一二月

一月

二月

三月

四月

五月

六月

七月

八月

九月

十月

十一月

一二月

一月

二月

三月

四月

五月

六月

七月

八月

九月

十月

十一月

一二月

一月

二月

三月

契約の相手 佐呂間町字永代町

株式会社 岸組工  
期 自昭和五十年九月二  
十五日 至昭和五十

年十二月十五日

工事請負契約の締結について  
除雪センター新築工事について  
次のとおり工事請負契約を締結す  
るものとする。  
工事の種類 除雪センター新築工  
事

契約の金額 三千六九八万円也

契約の相手 佐呂間町字宮前町  
高橋土建株式会社工 期 自昭和五十年九月二  
十五日至昭和五十年  
十二月二十日教育委員の任命について  
十月十四日を以って任期満了と  
なる、教育委員杉本磐氏を再任す  
ため議会の同意を求め、承認を  
得ました。

## ▼専決処分

町道路線の認定について

知来、仁倉間の旧国道廃止区間  
一六五〇米を町道に認定しました道路名 知来川沿道路  
総延長 一、六五〇米  
巾員 四・〇米

## ▼報告

国民宿舎運営調査特別委員会  
本特別委員会に付託ありました国民宿舎開設に伴う運営の基本に  
関する調査について、調査の結果次の基本方針により運営すること  
を得た。が適当であると、本委員会の結論  
を得た。  
1 国民宿舎の運営は公社を設立し  
これに委託運営をする。2 公社の運営は第三者の参加を求  
め、町及び第三者が出資して設  
立する。3 町は公社の負債に対しても債務  
保証は行なわない。4 国民宿舎の建設費は町の立てた  
計画に基づいて公社が町に償還  
する。5 公社が建設費の全額を償還した  
後においても国民宿舎の運営は  
存続する。6 公社は建設費の全額を償還した  
後においても国民宿舎の運営は  
存続する。7 公社は建設費の全額を償還した  
後においても国民宿舎の運営は  
存続する。8 公社は建設費の全額を償還した  
後においても国民宿舎の運営は  
存続する。9 公社は建設費の全額を償還した  
後においても国民宿舎の運営は  
存続する。10 公社は建設費の全額を償還した  
後においても国民宿舎の運営は  
存続する。11 公社は建設費の全額を償還した  
後においても国民宿舎の運営は  
存続する。12 公社は建設費の全額を償還した  
後においても国民宿舎の運営は  
存続する。13 公社は建設費の全額を償還した  
後においても国民宿舎の運営は  
存続する。14 公社は建設費の全額を償還した  
後においても国民宿舎の運営は  
存続する。15 公社は建設費の全額を償還した  
後においても国民宿舎の運営は  
存続する。16 公社は建設費の全額を償還した  
後においても国民宿舎の運営は  
存続する。17 公社は建設費の全額を償還した  
後においても国民宿舎の運営は  
存続する。18 公社は建設費の全額を償還した  
後においても国民宿舎の運営は  
存続する。19 公社は建設費の全額を償還した  
後においても国民宿舎の運営は  
存続する。20 公社は建設費の全額を償還した  
後においても国民宿舎の運営は  
存続する。21 公社は建設費の全額を償還した  
後においても国民宿舎の運営は  
存続する。22 公社は建設費の全額を償還した  
後においても国民宿舎の運営は  
存続する。23 公社は建設費の全額を償還した  
後においても国民宿舎の運営は  
存続する。24 公社は建設費の全額を償還した  
後においても国民宿舎の運営は  
存続する。

## 臨時第五回 町議会より

## ▼補正予算

一般会計補正予算(第五号)

才入才出にそれぞれ一千二十九万  
九千円を追加し、予算の総額を十  
七億七千五百四二万一千円とする。

主なる補正額

河川災害復旧事業費  
一千二九万九千円

(台風六号による、佐藤の沢川

簡易水道特別会計補正予算  
才入才出からそれぞれ一千二十四  
〇万円を減し、予算の総額を一億  
二千一六七万九千円とする。

主なる補正額

富武士簡易水道拡張工事費  
一千二四〇万円減額

## べしのりのし

## 所得税

第二期分の納税は

十一月三十日まで

十一月は、所得税第二  
期分の納税の月です。納税額については、一  
般の人の場合は六月に第一期分  
の通知といつしょに、また、特  
別農業所得者の場合は十月十五  
日までに税務署から通知されて  
いますから、その金額を十一月  
一日から十一月三十日(本年の  
場合は十二月一日)までの間に  
納めていたくことになります額より少なくなると見込まれ  
人は、十一月十五日までに税務  
署に予定納税額の減額承認の申  
請書を提出することができます。なお、所得税の便利な納税の方  
法として、振替納税の制度があ  
ります。

赤い羽根共同募金運動

赤い羽根はあなたの  
善意のシンボルです助け合いのあたかな心を  
あなたの胸にかざりましょう

10月1日～12月31日が運動期間です

共同募金会佐呂間分会



# 畜産

一、越冬粗飼料の確保量検討  
天候の不順から、乳牛の粗飼料調製には非常に苦労の多い年でした。今までに乾草やサイレージで確保した量が冬期間の必要量に十分であるかどうか検討してみまし

てん菜育苗床土の採取  
収穫作業で忙しい時期に入りましたが、明年的育苗用床土の採取を是非雪解前に行なってください。床土の水分が多いと作業能率を悪くしますので、水分は30%程度のものを堆積し、麦稈類で覆いして凍結を防ぐようにしましょう。また、ハウス育苗を行なったハウス内の床土は人替えをするか、客土をして健苗を育てるようになります。

(1) 生給与は磷酸やサポニンが多く含まれているため長期間にわたって大量に給与するリン、カルシウムなどの無機成分の吸収を阻害し、せん維や脂肪の消化率を低下させるなど、有害な作用があります。また分娩後間も無い搾乳牛は溶血作用によって産褥性血色素尿症の原因になります。

次のことを行なってください。  
・一日の給与量は、200~250キロの範囲にすること。  
・リン不足になりやすいのでリン酸カルシウム(トツブー10キロに対し10~15グラム)や濃厚飼料を与えること。  
・乾物の摂取不足になりやすいので乾草は与えること。

# 畑作

てん菜育苗床土の採取

よりも蛋白質、ビタミンに富んでいて、まめ科牧草と同じように高い栄養価を含んでいます。利用に当つては十分に次の点に留意して下さい。

(2) サイレージ原料として利用する場合は、土砂の付着したものをさけ、水分含量を70%程度に予乾するとい。密封はビニールなどで被覆して外気の入るのを遮断し、十分に加重すればよい品質のものができます。

二、ビートトップの利用法  
ほ場副産物のビートトップは最も多く利用されている良質な粗飼料です。飼料成分はデンントコーンよりもビタミン類が含まれています。サイレージ原料として利用する場合は、土砂の付着したものをさけ、水分含量を70%程度に予乾するとい。密封はビニールなどで被覆して外気の入るのを遮断し、十分に加重すればよい品質のものができます。

三、冷凍庫を活用しよう。  
冷凍庫の中は秋の味覚でいっぱいですか。とうもろこし、かぼちゃ、ピーマン、枝豆……。たとえば農作業のあい間に四

五人でグループを組み、一人が一種類ずつ、四~五軒分を作り共同調理をやってみてはいかがでしょう。作業ものはかどり、四~五種類の総菜ができるわけです。一度溶かしたもの再凍結は腐敗しやすいので注意します。

四、ムロを利用しよう。

昔から活躍しているムロに、今年もじやがいも、大根、人参ゴボウなどを貯蔵しておきました。これから長い冬がやつ



よう。おおよそ成牛一頭の必要量は良質なもので乾草二トン、サイレージは七トンぐらいあればよいでしょう。また翌春の雪どけが遅れることも考慮に入れて一割程度多く確保する方がよいでしょう。

また屋外で大型に堆積してビニールシートで被覆をしても約一割くらいの損失がありますので、この点についても考慮する必要があります。

分娩直後の高泌乳牛には特に給与量を制限すること。

・収から後長く放置したものは、ベタインが発生して乳質に悪いこと。

二、乾燥も行なう。いつも捨てられる大根菜には熱湯をかけて陰干しにしておきましょう。冬の間、水にもどしてみそ汁やしらすや漬けに利用できます。また切り干し大根も作っておきましょう。

三、冷凍庫を活用しよう。  
冷凍庫の中は秋の味覚でいっぱいですか。とうもろこし、かぼちゃ、ピーマン、枝豆……。たとえば農作業のあい間に四

五人でグループを組み、一人が一種類ずつ、四~五軒分を作り共同調理をやってみてはいかがでしょう。作業ものはかどり、四~五種類の総菜ができるわけです。一度溶かしたもの再凍結は腐敗しやすいので注意します。

四、ムロを利用しよう。

昔から活躍しているムロに、今年もじやがいも、大根、人参ゴボウなどを貯蔵しておきました。これから長い冬がやつ

ります。て冬の野菜不足を補うことを考えましょう。

一、衛生的に漬けることが大切です。洗つてから食膳にのせることが多く使って、上手に栄養的に漬けることがコツでしよう。

二、才末たすけ合い運動資金造成  
「バザー」御協力お礼

去る九月二十五日才末たすけ合運動資金造成バザーを、日赤奉仕団により行ないましたところ、皆様方から暖いご協力をいただき、売上金一〇八〇七〇円という多額

に上りましたことを報告いたします。

佐呂間町日赤奉仕団  
委員長 船木恵美

今月の納税は  
第3期 第2期です  
町道民固定資産税  
國民年金

忘れずに納めて下さい

## 第9回 総合文化祭日程

| 開催場所                   | 佐呂間公民館   |
|------------------------|--|
| 開催日時                   | 大講堂 和室   |
| 昭和50年<br>10月26日<br>(日) | 13時~16時<br><b>「芸能祭」</b><br>舞蹈・民謡・琴<br>詩吟・郷土芸能    |
| 10月27日                 | 9時~17時<br><b>「一般作品展」</b><br>書道・絵画・俳句<br>手芸・写真・彫刻 |
| “ 28日                  | 9時~17時<br><b>「児童生徒作品展」</b>                       |
| “ 29日                  | 書道展  |
| “ 30日                  | 絵画展  |
| “ 31日                  | 華道<br>(福祉会館講堂)                                   |
| 11月 1日                 |  |
| “ 2日                   |  |
| “ 3日                   |  |

第九回佐呂間町総合文化祭が十  
月二十六日から十一月三日迄佐呂  
間公民館で開催されます。

私達の平素の生活の中に「美」  
を求める、創造し情操を高揚し、郷  
土の文化に対する関心を深め、心  
豊かな住みよい、町づくりを図る  
ため例年文化連盟と教育委員会が  
主催して、文化祭を催しており、  
その内容も年々充実されたものと  
なっており、芸能発表と作品展示  
の二部門に分かれております。

芸能発表は舞蹈、民謡、琴、詩  
吟、郷土芸能など日頃の練習の成  
果が発表されます。  
又作品展示は書道、華道、絵画  
写真、俳句、彫刻などの作品が館  
内に展示されます。  
文化連盟では、町民多数の方々  
がこの文化祭の芸能発表と作品展  
示に参加されることを望んでいま  
す。  
又期間中多くの方が御観覧下さ  
ることをお待ち致しております。

十月二十六日から十一月三日まで

# 第九回 総合文化祭

金

忘れずに納めましょ  
— 国民年金の保険料 —

犬の放し飼いを  
一掃しよう

国民年金の保険料はもう納められ  
ましたか。納め忘れたことになってい  
ます。

納め忘れの保険料は、もよりの  
もう一度お手許の役場支所、出張所又は役場年金係  
の窓口③番へどうぞ。

しらべになって下  
さい。

国民年金は、老後的生活の安定だ  
けでなく、万一「ケガ」をしたり、  
一家の主人がなくなられた時  
などにも年金が支給されます。

國

民

年

あなたの年金は生きていますか

いま国民年金に加入もれの人  
や加入はしていても、保険料を  
納めきれずにいた人のために、  
時間効率の高い過去の保険料を納  
めることができる救済措置が昨  
年一月からはじまります。年一月  
のままにしますと、納めたくと  
も認められなくなりますが、い  
ます。

普通、保険料は二年以上未納  
のままにしますと、納めたくと  
も認められなくなりますが、い  
ます。

今年十二月末限りで、期限切れ  
になります。

不明な点がありましたらお氣  
軽に係へおたずね下さい。

これまでにしませんと、納めたくと  
も認められなくなりますが、い  
ます。

普通、保険料は二年以上未納  
のままにしますと、納めたくと  
も認められなくなりますが、い  
ます。

不明な点がありましたらお氣  
軽に係へおたずね下さい。



野犬掃討期間(告示)  
十月一日~十一月三十日

近年の経済の成長と、生活の安  
定に反映して、畜犬の飼育熱が著  
しく盛んになる傾向がありますが  
しかしその反面大による被害は、  
農作物、家畜などの被害にとどま  
らず、犬による人の咬傷事故(大  
に咬まる事)の発生などがあり  
少なからず町民に不安を与えてい  
る現状にあります。

町では、この被害発生防止のた  
め、畜犬取締り及び野犬掃討条例  
に基き、役場及び各支所、出張所  
に不用犬のポスト、オリなどを設  
置しているほか、野犬掃討の強化  
などにより発生の防止に努めてお  
ります。

これら発生の主な原因是、犬の  
飼主の無責任な飼育によるものが  
多く、その代表的なものが「放し  
飼い」であります。

今後の対策として、放し飼い犬  
などは厳重に取締り、野犬とみな  
して即刻殺処分しますから、畜犬  
の正しい飼育と管理について十分  
ご留意下さるとともに、町民の皆  
様の御協力をお願いいたします。



